

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 京都市のインフルエンザの定点あたり報告数は3.67でした。全ての行政区で警報・注意報レベルを下回りました。
- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は6例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(いずれも80歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎、菌血症等です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は24例となりました。
- ・ 梅毒(早期顕症)の報告が1例(10歳代女性)あり、症状は梅毒性バラ疹です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は22例となりました。

◆ 今週のトピックス: <カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症>

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(carbapenem-resistant Enterobacteriaceae:CRE)は、メロペネムなどのカルバペネム系抗菌薬及び広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を獲得した大腸菌や肺炎球菌など腸内細菌科細菌の総称で、肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位等の感染症、敗血症等多様な感染症を引き起こします。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 78例(肺結核 30例, その他結核 18例, 潜在性結核感染者 30例)うち喀痰塗抹陽性 13例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 24例】
- ・ 五類:梅毒1例【1月以降の累積報告数 22例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

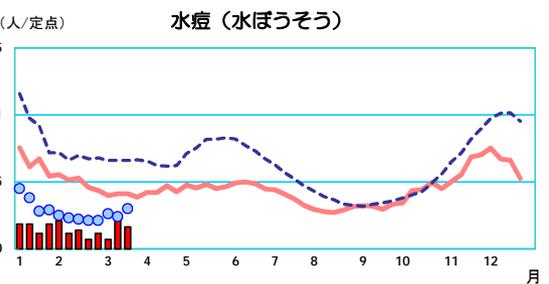
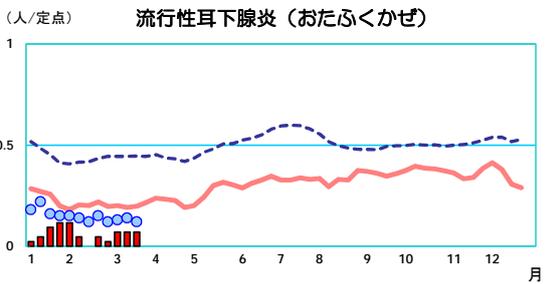
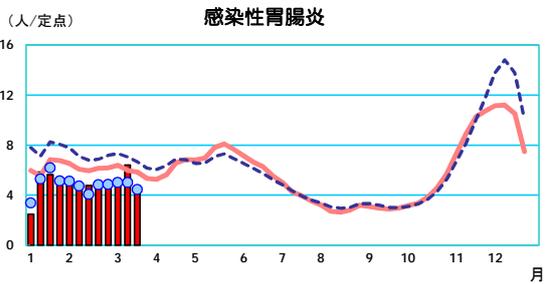
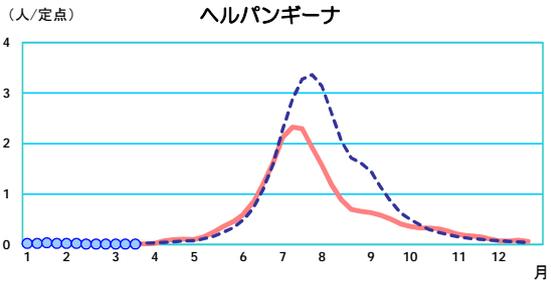
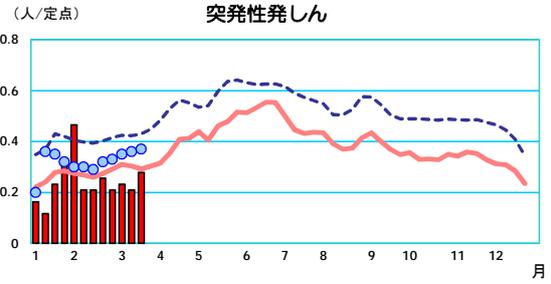
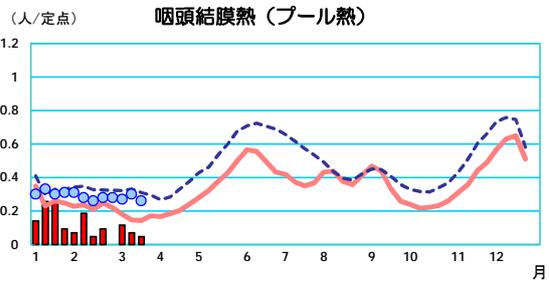
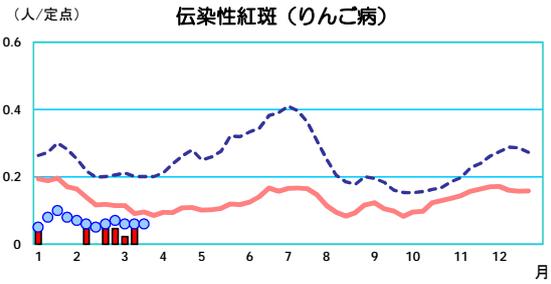
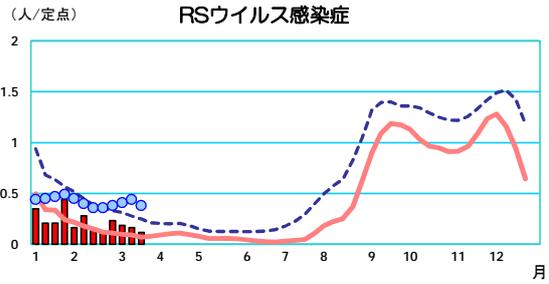
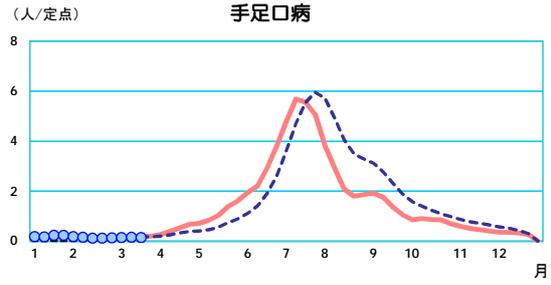
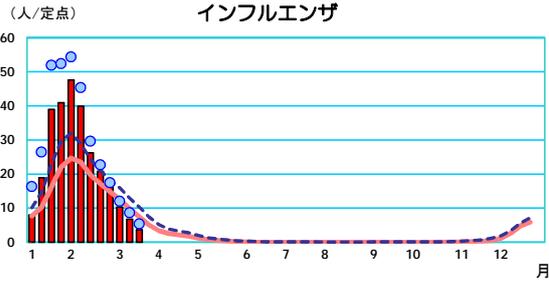
定点	感染症名	定点あたり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	3.67	253
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.53	195
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.16	50
	③ 突発性発しん	0.28	12
	④ 水痘	0.16	7
	⑤ RSウイルス感染症	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年3月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第12週(3月19日～3月25日)トピックス: <カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症>

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(carbapenem-resistant Enterobacteriaceae:CRE)は、メロペネムなどのカルバペネム系抗菌薬及び広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を獲得した大腸菌や肺炎球菌など腸内細菌科細菌の総称で、肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位等の感染症、敗血症等多様な感染症を引き起こします。

多くの国では、CREの割合が増加傾向にあり、WHOにおいても耐性菌サーベイランスの強化を重点課題に掲げています。こうした状況をうけ、CRE感染症は、2014年9月19日より感染症発生動向調査における5類全数把握疾患となりました。そのため、全国全ての医療機関で本疾患と診断された場合には、保健所へ届け出ることが義務付けられます。届出基準は、症状の他にCREの検出と耐性の確認が必要になりますが、無症状で腸管等に保菌されることも多くあるとされています。

2014年9月～2018年3月までの報告数をまとめると、京都市では毎年30～35例(図1)、全国では毎年1500～1700例(図2)で推移しています。また、全国の報告数の男女比は、毎年男性が6割以上を占め(図3)、年齢構成比では、毎年70歳以上の区分が6～7割以上を占めました(図4)。一般的にCREは、防御機能の低下した患者や抗菌薬を長期にわたって使用している患者等に感染症を引き起こすため、院内感染対策が重要となります。

厚生労働省から2014年12月19日付けで出された「医療機関における院内感染対策」の中で、CREの他に4類の定点把握疾患の多剤耐性緑膿菌、5類全数把握疾患のバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌、バンコマイシン耐性腸球菌及び薬剤耐性アシネトバクターの5種類の多剤耐性菌については、保菌も含めて1例目の発見をもって、厳重な感染対策を実施するよう求めています。接触感染予防策が基本ですが、CREはもともとヒトの腸管に生息する腸内細菌が耐性を獲得したものであり、特に糞便および尿の取扱時に注意が必要です。オムツ交換時の手洗い、適切な消毒薬の使用、手袋の使用を心がけましょう。

図1 京都市の報告数の年推移

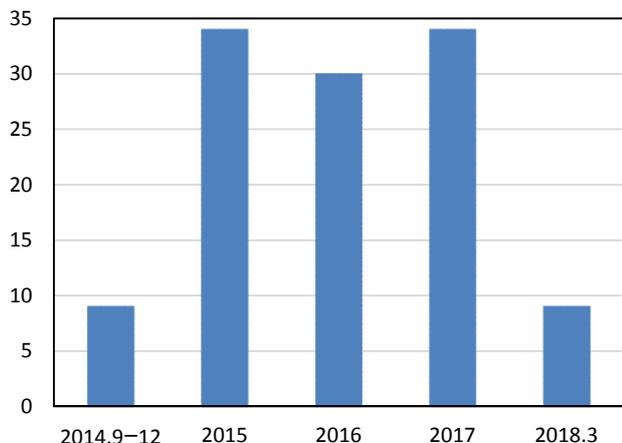


図2 全国の報告数の年推移

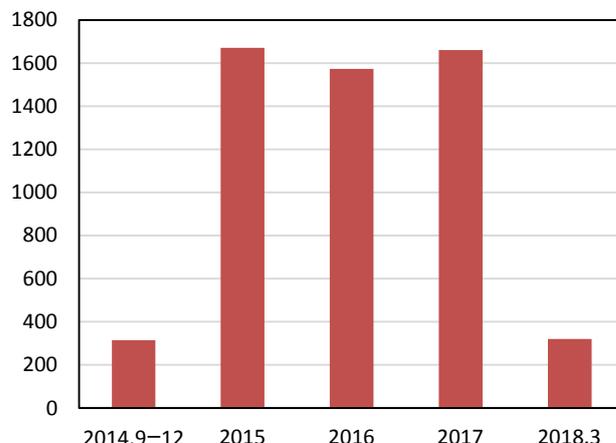
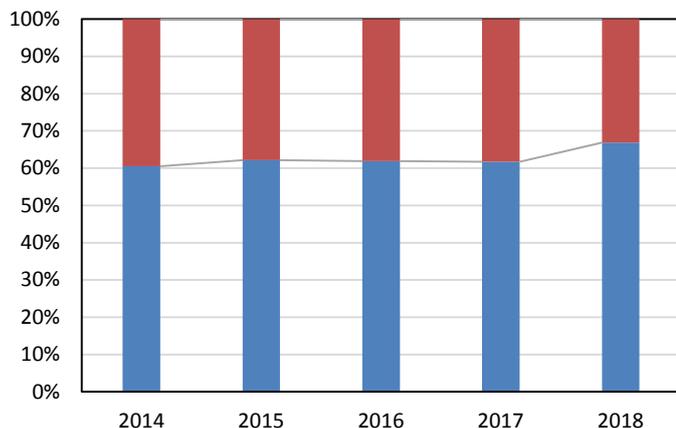
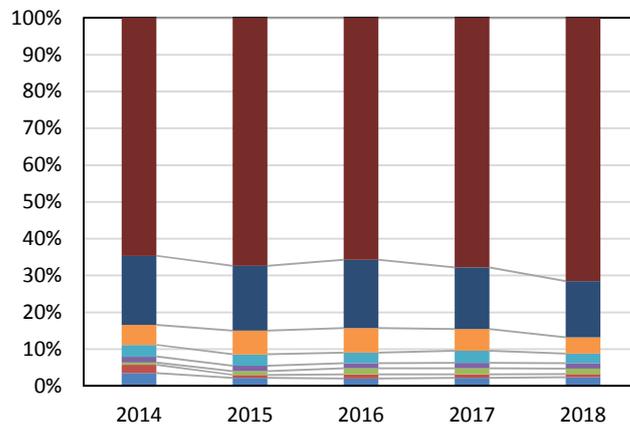


図3 全国の報告数の男女比



■ 男 ■ 女

図4 全国の年齢階級別報告数



■ 0～9 ■ 10～19 ■ 20～29 ■ 30～39
■ 40～49 ■ 50～59 ■ 60～69 ■ 70～

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第12週

疾病,行政区別報告数

平成30年3月19日～平成30年3月25日

データ入手日:平成30年3月28日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	13	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-						
上京	27	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	20	1	-	5	59	-	-	-	1	-	-	-	-						
中京	18	-	-	4	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9	-	-	3	16	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	25	1	-	-	12	1	-	-	2	-	-	-	-						
下京	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	42	-	-	5	14	-	-	-	3	-	1	-	-						
右京	23	-	-	10	21	1	1	-	1	-	2	-	2						
伏見	42	1	2	13	43	4	1	-	4	-	-	-	1						
西京	30	2	-	6	21	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	253	5	2	50	195	7	4	-	12	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	1.86	-	-	-	0.25	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-						
上京	5.40	-	-	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	2.86	0.25	-	1.25	14.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-						
中京	3.60	-	-	1.33	2.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.00	-	-	1.50	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	3.57	0.20	-	-	2.40	0.20	-	-	0.40	-	-	-	-						
下京	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	8.40	-	-	1.67	4.67	-	-	-	1.00	-	0.33	-	-						
右京	2.88	-	-	2.00	4.20	0.20	0.20	-	0.20	-	0.40	-	2.00						
伏見	3.82	0.14	0.29	1.86	6.14	0.57	0.14	-	0.57	-	-	-	0.50						
西京	3.75	0.40	-	1.20	4.20	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	3.67	0.12	0.05	1.16	4.53	0.16	0.09	-	0.28	-	0.07	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第12週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年3月19日～平成30年3月25日

データ入手日:平成30年3月28日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	253	-	2	14	14	11	17	7	11	10	12	11	28	16	18	19	25	16	12	6	4	
RSウイルス感染症	年齢3	5	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		50	-	-	2	-	8	6	5	7	5	2	5	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		195	2	12	21	22	31	21	11	11	2	4	-	21	11	26	-	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		4	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	7	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	3.67	-	0.03	0.20	0.20	0.16	0.25	0.10	0.16	0.14	0.17	0.16	0.41	0.23	0.26	0.28	0.36	0.23	0.17	0.09	0.06	
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	-	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.16	-	-	0.05	-	0.19	0.14	0.12	0.16	0.12	0.05	0.12	0.12	0.02	0.09	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		4.53	0.05	0.28	0.49	0.51	0.72	0.49	0.26	0.26	0.05	0.09	-	0.49	0.26	0.60	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.16	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.09	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.28	-	0.16	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	0.10	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第12週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年3月28日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1,809	1,434	1,211	714	469	253
RSウイルス感染症	6	5	10	8	7	5
咽頭結膜熱	2	4	-	5	3	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	56	45	57	67	50
感染性胃腸炎	205	205	211	207	275	195
水痘	6	3	5	3	10	7
手足口病	1	1	1	1	3	4
伝染性紅斑	-	2	2	1	3	-
突発性発しん	9	11	9	10	9	12
ヘルパンギーナ	-	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	2	1	3	3	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	2	3	4	1	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2,090	1,726	1,498	1,013	850	534

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	26.22	20.78	17.55	10.35	6.80	3.67
RSウイルス感染症	0.14	0.12	0.23	0.19	0.16	0.12
咽頭結膜熱	0.05	0.09	-	0.12	0.07	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	1.30	1.05	1.33	1.56	1.16
感染性胃腸炎	4.77	4.77	4.91	4.81	6.40	4.53
水痘	0.14	0.07	0.12	0.07	0.23	0.16
手足口病	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07	0.09
伝染性紅斑	-	0.05	0.05	0.02	0.07	-
突発性発しん	0.21	0.26	0.21	0.23	0.21	0.28
ヘルパンギーナ	-	0.02	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	0.05	0.02	0.07	0.07	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.20	0.30	0.40	0.10	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	32.83	27.73	24.46	17.61	15.73	10.43

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。